



1 明北小6年道徳『自由について考える』（6学年だよりから）

道徳の時間にみんなで「自由」について考えました。この時間は、正解を出すことではなく、今、ここにいるみんなで納得解を出すことが目的でした。

まず、グループに分かれて「どんな時に自由とを感じるのか？」逆に「不自由だと感じる時はどんな時か？」について考えを出し合いました。そして、そこからキーワードを見つけて「自由とは、こういうこと！」を考えました。

各グループの考えを持ち寄り、最後は全員で考えました。ある子が「自由にしてもいいよって言われても、なんか、困るときがある」と言いました。すると、何人かの子が同感だと言います。「やることない時とか、何やっていいかわからない時に、自由にさせて言われても・・・」「確かに」と話が続きます。すると「じゃあ、『自由とは、やりたいことがある時』だ。」と言う子がいて、みんな納得です。

そして、子どもたちが出した現時点の納得解は「自由とは、やりたいことがあって、それを誰にも邪魔されずにできること」だそうです。だから、子どもたちと、「これから大人になっていくのに、自由でありたかったら、やりたいことが沢山あった方がいいんだね。」という話しになりました。

私はここで子どもたちに、もう一つ考えて欲しいことがありました。それは、自分の自由を主張するとき、常に周りには他人がいるということです。それなので、「みんなが自由に生活できるのっていいよね。でも、ちょっと周りを見て。これだけの人がいるよね。中学校に行ったらもっと増えるよね。そんなときに、それぞれに自由があるでしょ。どうしたらいいんだろうね？例えば、授業中に、この人は静かに先生の話聞きたいって思ってる。でも、こっちの人たちは、友だちと話をしながら勉強を進めたいって思ってる・・・こういう時、どうする？」と聞いてみました。すると、子どもたちは、「そうか・・・」と困ってしまいました。そして「じゃあ、喋りたかったら別の場所に移動する？」「そういうときは、喋るのを我慢する？」という力ない返答がありました。私はそれでいいと思いました。正解はないし、私自身も難しいと思っています。だから、「人と一緒に生きていく時に、『自由』って難しいよね」ということで授業は終わりました。振り返りを見ると、「自分の自由も大事だけど、時には我慢することも必要」や「自由とはやりたいことがあるということだから、これからいろいろなことに挑戦してやりたいことを見つけていきたい」など、それぞれが「自由とは何か」についてもう一度よく考えている様子が分かりました。

今回の道徳で、「自由」を考えたときに「やりたいことがあって」というワードは私の中にはなかったものです。それなので、子どもたちともっと話しがたくなりました。

そこで、給食を食べながら、「みんなは大人になったときに自由でいるのがいいの？」と聞くと、「それはそう！」と力強い返答。「じゃあ、みんなの考えでいくと、やりたいこ

とがあるってことが大事なんだよね?」「そうだよ。」「じゃあ、そのやりたいことってどうやって見つけるの?」「ああ・・・そうか」「だってさ、何にもないところから、やりたいこと見つけて! って言われても見つからないよね?」「そうだと思う。」

・・・ここまで話をしてくて、心と気づきました。学校は子どもたちが、いろいろな経験をする中から、自分はこれに興味がある、自分は他にもこれをやってみたい、と「やりたいことがある」状態になるための場所でもあるのだ、と。そして、そういう環境をつくるのが、私たちの仕事だと思った瞬間に、すごく責任を感じました。

さらに、「例えばやりたいことがあったとして、それをできるのが自由なんだよね?」「そうだよ。」「でもさ、いくらやりたいことや興味があることがあったとしても、字が読めなかったり、書けなかったりしたらできない場合もあるよね。あと、なにか調べたいって思っても、ネットでの調べ方がわからなかったら、できないこともあるよね。そしたら、自由じゃないね。」「ああ、そうかも」・・・

こんな話をしながら、だから子どもたちは学校に通うのか、と私は思いました。人とかわりながらのたくさんの体験と、基本的な知識・技能。そのどちらも大切で、そこにかかわる私たちの責任は大きいと感じました。そして、学校という場所が、子どもたちが大人になったときに、「自由でいられる」ための場所であれたらいいな、と思いました。

日々の学校生活の中で、子どもたちの発想や思いに、ハッとさせられることがあります。「自由とは、『やりたいこと』があって、それを誰にも邪魔されずにできること」との納得解を見いだした子どもたち。「自由」の捉え方は人それぞれ違うかも知れませんが、様々な経験を通して、「やりたいこと」を見つけ、言葉に出し、挑戦できる、そんな環境づくりを目指していきたいと改めて思いました。

2 第2回明科地域学校協働本部連絡会全体会(兼:第6回定例会) 2月24日(火)



本年度最終となる、明科地域学校協働本部連絡会が明科公民館で行われました。2ヶ月に1回の計画で行われてきた連絡会です。明科園小中高・市教委・各機関・各事業所・地域コーディネーター等の担当者が参集のもと、それぞれの取組を共有し、連携したいことの提案等を行ってきました。

情報共有をする中で、TOCO-TON の取組にご理解をいただき、子どもたちの願いに基づいた、こども園や高校、地域との関わりの場を検討することができたと思います。様々な取組への子どもたちの参加は、地域の活性化にもつながっています。来年度も継続して連絡会を行っていく予定です。